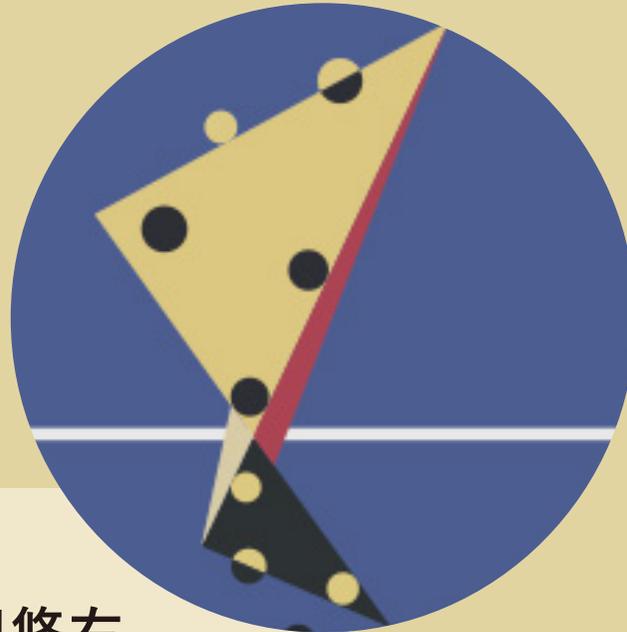


YUSUKE KISHIDA' s

PORTFORIO



岸田悠右

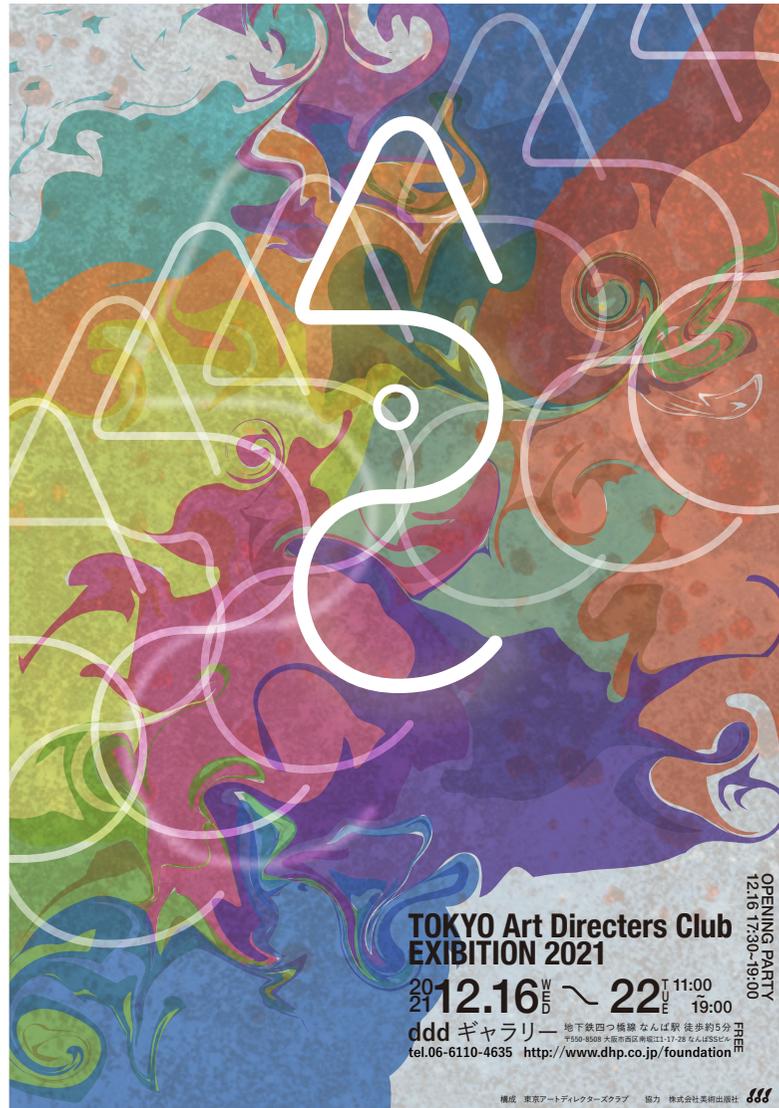
名前は「きしだゆうすけ」と読みます。
コンピュータや数学などの技術的なことにも、アートやデザインなど主観性の高いものにも両方に強い関心があります。どちらか一方に偏らず、両方の架け橋に慣れるような人物を目指しています。

技術的・デザインの両方の側面で世の中の問題を最適化したいと思っています。

2016.3	奈良市立一条高校	卒業
2021.3	大阪府立大学	卒業
2021.4	大阪デザイナー専門学校	入学

Tokyo ADC ポスター

制作：Illustrator 制作サイズ：210×297



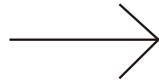
東京アートディレクターズクラブの展示ポスターをデザインしました。

■ デザインコンセプト

SDGs に代表されるように、近年人と人との分断が問題として取り上げられることが多くなってきたように思います。そのため「人の繋がり・分断・共鳴」をテーマにしました。



つながった1単位としてのグループ
があって



様々な文化的背景の上で



複数のつながりが混じり合うように
共鳴している

ブログテーマ

制作：Illustrator XD 制作サイズ：WEB スマホ



記事の文章を主体としたシンプルなブログテーマをデザインしました。現在、Wordpress テーマとして実装中です。

■ なぜブログを作るのか

受験勉強をしている時，卒業研究をしている時，進路変更で迷っている時，人生の中でしんどくなるタイミングが多々ありました。そんな時に救いになったのが言葉でした。特に素朴なブログの言葉達は飾られておらず，ずっと心にしみてきました。自分もそんなブログを作りたいと思ったのがきっかけです。

■ 伝えたいこと

普段外には出さない思考や感じたこと，それらを踏まえての自分の決断。また，それらを振り返っての今の心境など。
飾らず，素朴にただ語る。

■ どんな人に？

過去の自分のように人生の分岐点で迷っている人。また，今の自分。

■ どんな感じで？

急な雨の中の雨宿りのような。長い人生の中のいったんのヤドリギとして。

■ 情報設計

アフィリエイトなどは行わず、あくまで文章が主体であることから、余計な機能は省くように情報設計を行いました。通常のブログテーマならあるバナー枠やナビゲーションメニューなども必要ないと判断しました。

■ デザインコンセプト

キーワードは「雨の日の午後」。安心できるような温かみを感じさせるビジュアルにする。文章に集中できるように余計な機能や装飾は使わない。

○ やること



温かみを感じる色



雨のモチーフ



文章に集中

× やらないこと



広告スペース



ナビゲーションメニュー



余計な装飾



WEB サイズ

温かみのあるベージュをベースカラーに、柔らかいグレーをアクセントとしました。雨のようなあしらいがワンポイントとなりつつも、全体の邪魔はしないようにしてあります。



スマホサイズ



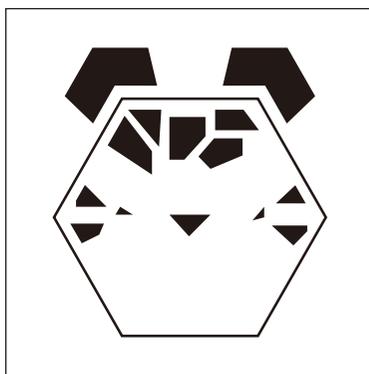
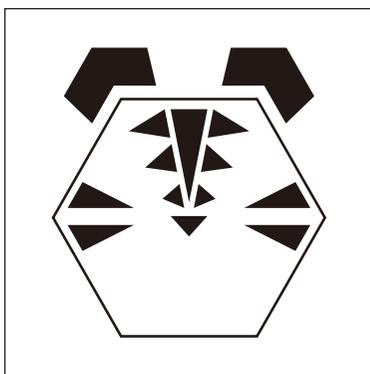
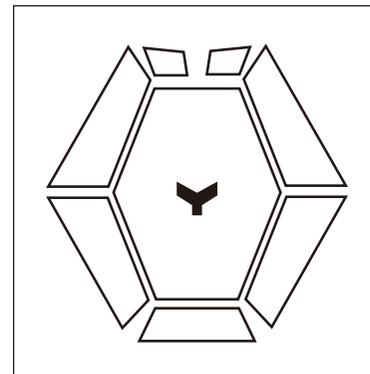
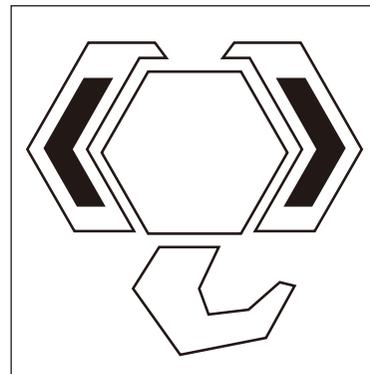
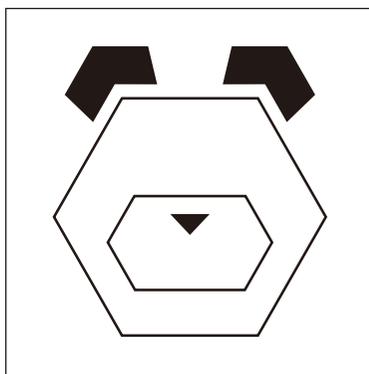
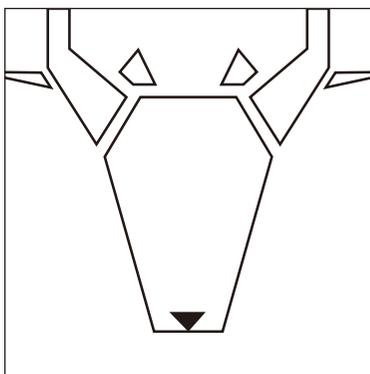
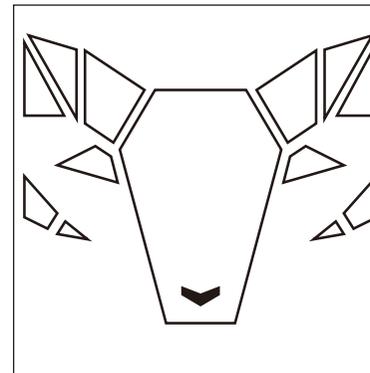
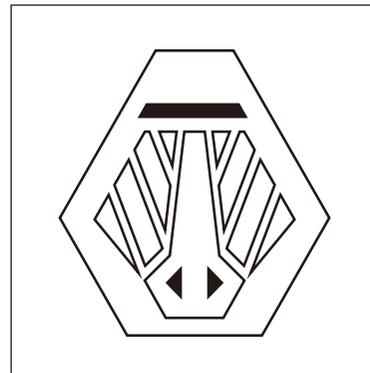
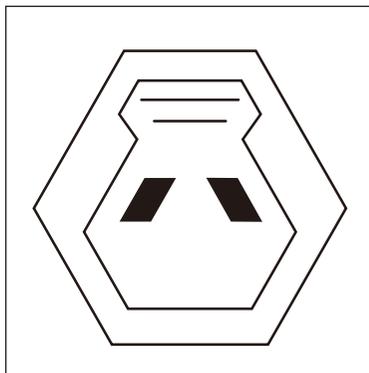
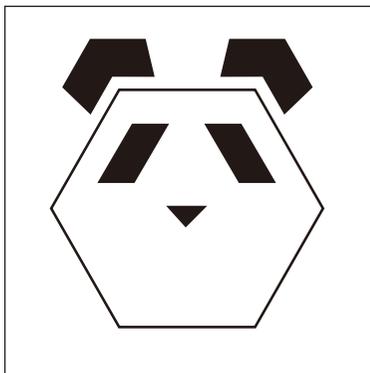
スマホメニュー

動物ピクトグラム

制作：Illustrator 制作サイズ：100×100



非言語的な情報伝達手段として注目されているピクトグラムを、動物園をテーマにデザインしました。

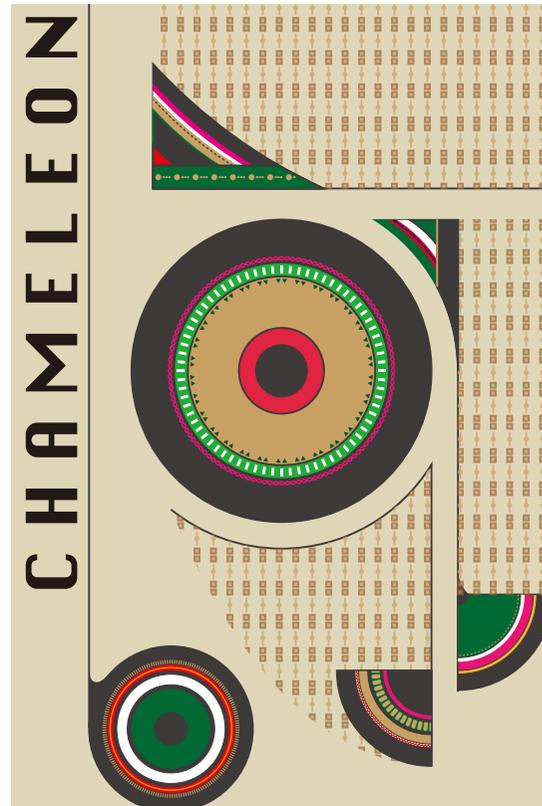


対象となる動物園は都内の、室内展示が多めの動物園という想定にしました。そのため、ピクトグラムは蛍光塗料やネオンで描かれるだろうと思い、その機械的なイメージに合うように直線的なイメージでデザインしました。

正六角形を基本とし、その枠で表現できない動物に関しては、全体の統一感を損なわないように独自の輪郭を持たせました。

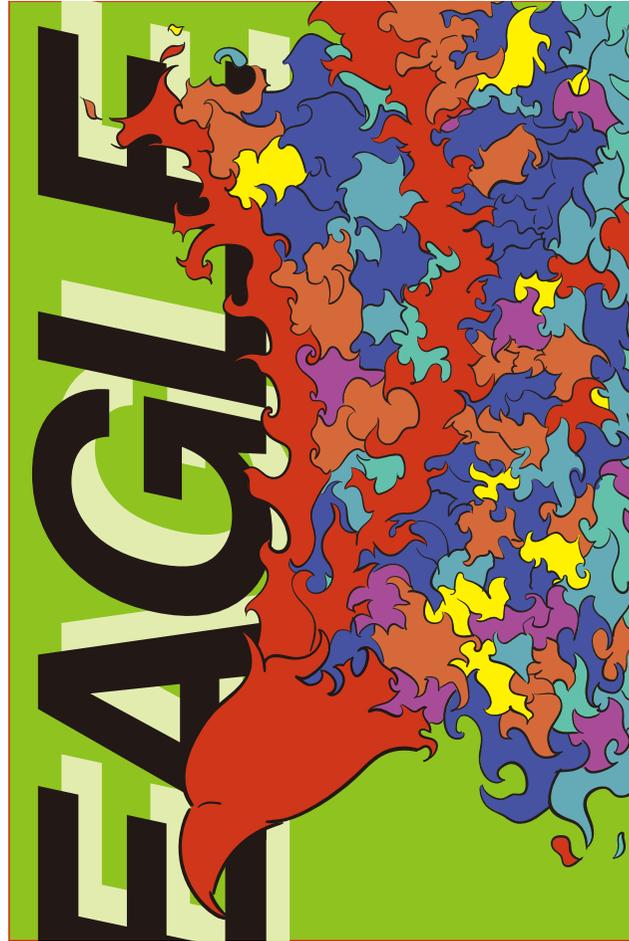
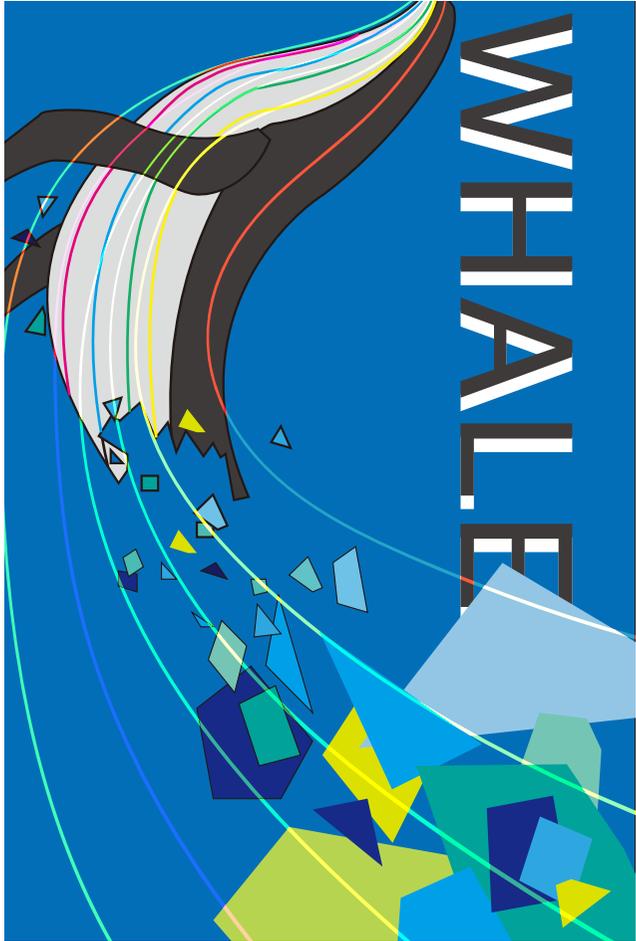
動物ポストカード

制作：Illustrator 制作サイズ：100x148



動物のイメージをグラフィカルに表現したポストカードになります。色使いなど表現の幅を広げるために、モノクロの背景は避け、あえて”盛り盛り”の表現を目指しました。

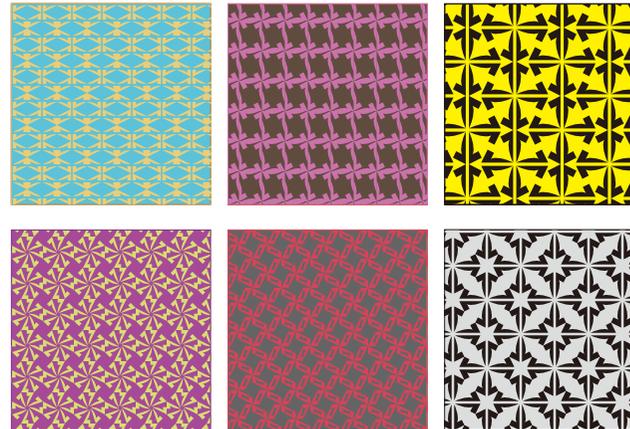
こちらの2点は、カメレオンの”どこにいるかわからない、不思議で気味の悪い”感じを出すことをテーマにしています。



こちらの2点は、vividな色使いを学ぼうというテーマで制作しました。

パターンデザイン

制作：Illustrator



布や包装紙など、ベタ面にあしらわれるパターンをデザインしました。

実はこれらのパターンは全て一つのエレメントで構成されています。どんなエレメントでしょう？

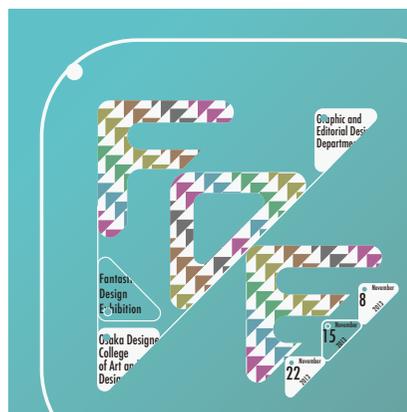
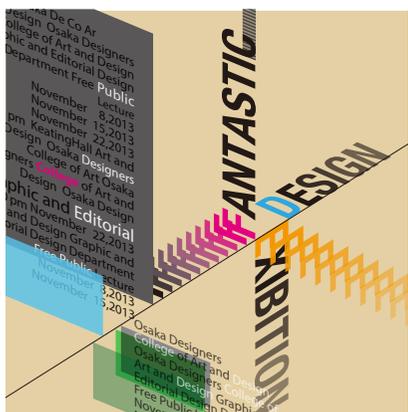
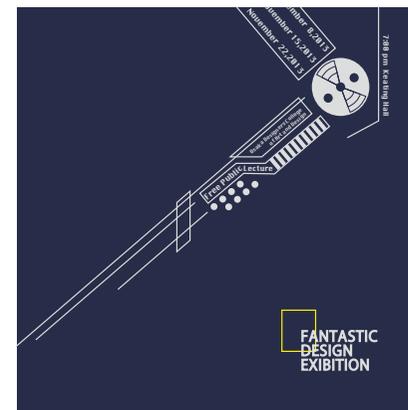
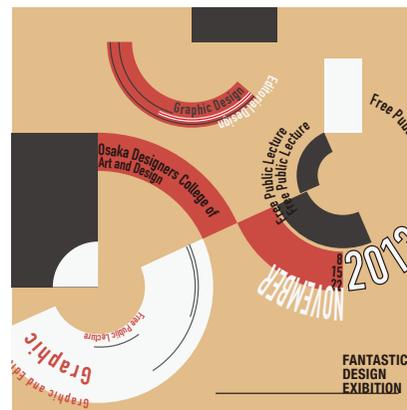
タイポグラフィック

制作：Illustrator 制作サイズ：120×120



線や簡単な図形と、文字列を中心とした平面構成を行いました。

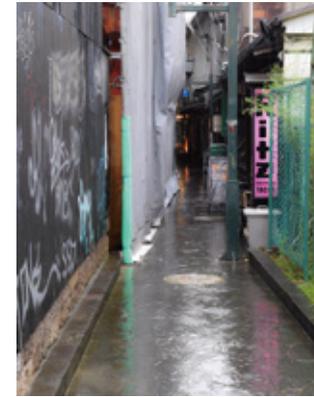
いろいろな作品を見て、表現の幅を広げることを意識して制作しました。



文字を面として扱ったり，図形の中にワンポイントとして落とし込む方法などを考えました。
 短期間で様々な表現をすることを目標に，作品それぞれにカースキームを設定し，テーマを持ちました。

写真

制作：Photoshop



写真をとることは好きなものの一つで、街中を歩いた時に肉眼で自分が見たときの感動が伝わることを意識して撮ります。

現地の空気感を最も大切なこととし、構図に特にこだわっています。



**最後までご覧いただき
ありがとうございます！**

ここでは、このポートフォリオを制作するにあたって
のプロセスをご紹介します。もう少しだ
け付き合っただけだと幸いです。

□ スケッチから始める

自分を表すポートフォリオとして最適なものはなんだろうと考えました。

まず思いついたのは自分が理想としているデザイナー山中俊治さんとデザイン的に好きな文具メーカー LAMY でした。

そこで山中俊治さんに習い、LAMY の万年筆をスケッチすることからはじめました。



□ 機能と美しさ

スケッチを通じた観察からわかったことは、機能と美学の融合を見事に果たしているということです。インク残量を示すインジケータが見やすくなるようにカットされた平面とペン本来の曲線の接続、そのインジケータが必ず書いている時に上面に来るように切られたネジ、それにインジケータの表示を邪魔しないようにU字型にしてある雄ネジ。

ペンの機能を保持するために作られた造形が、製品としての美しさを損なわないように、むしろそれを増強するようになっていました。

□ 遊び心を忘れない

LAMY の万年筆は元々、小さい子供が書き方を覚えるために開発されたそうです。そのため、できるだけ単純な構造で壊れにくく作られています。

またそれだけでなく、少々大きめなクリップなどどこか愛らしい印象をうけるようにも思います。ちょっとした遊び心も大事にしているようでした。

■ 自分が大切にしたいこと

結局、自分がデザイナーになる上で大切にしたいことはシンプルなものでした。

機能を第一とし、機能に沿うような美しさを追求すること。また、最後にちょっとした遊びを忘れないことです。この心を忘れずにこれから先も精進を続けていきます。

最後までご覧いただき
ありがとうございました

